



自動充電式ロボクリーナー

ROBO CLEANER

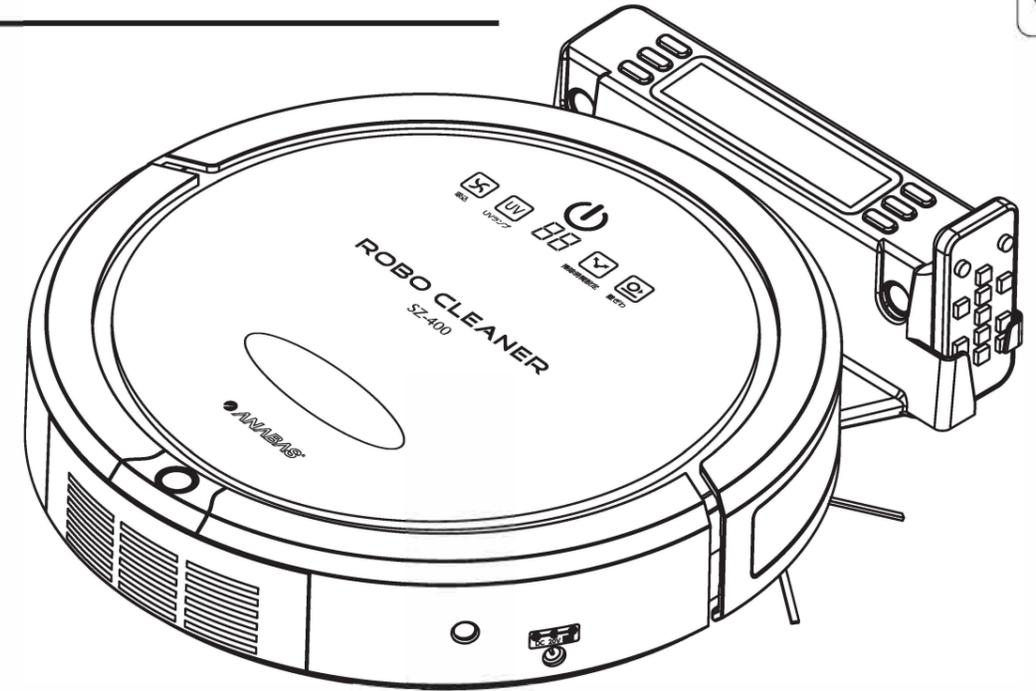
SZ-400

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店などが記入されていることをご確認ください。



Ni-MH



お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ご使用になる前に
この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。室内での使用に限ります。

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<http://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639

201312-1

目次

■安全にご使用いただく為に	2・3	■お手入れ(段差検知センサー・車輪の掃除)	9
■付属品・各部名称	4	■充電電池の交換方法	9
■センサー機能と使用上の注意	5	■集塵フィルターの交換方法	10
■お掃除の前に	5	■故障かなと思ったら	11
■本機への充電	6	■よくある質問(Q&A)	12
■掃除の始め方	6	■仕様	13
■サイドブラシの取付け・取外し	7	■充電電池を長くご使用いただく為に	13
■ダスターの使い方	7	■保証とアフターサービス	14
■お手入れ(集塵ケース・集塵フィルターの掃除)	8	■保証書	16

安全にご使用いただく為に

この掃除機は、家庭用です。業務用には使用しないでください。掃除目的以外には使用しないでください。
この掃除機をご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

- 危険** 「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと」を示します。
- 警告** 「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
- 注意** 「取扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

- 禁止** ○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
- 指示** ●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
- 注意** △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■本体・充電ステーション・ACアダプターの取扱いについて

警告

- 分解・改造・修理をしない**
火災・感電・けがの要因となります。修理は、お買いあげの販売店、または当社サポートセンターにご依頼ください。なお、充電電池の交換は、本書の「充電電池装着・取外し」に従って行ってください。
- 本体は付属の充電ステーションを使用し充電する充電ステーションを他の充電電池の充電に使用しない**
充電電池の液もれ・発熱・破裂の原因になります。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
感電や発熱による火災の原因になります。
- 充電ステーションの電源プラグは家庭用交流100Vコンセントに差し込む**
感電やそれ以外のコンセントに差し込むと火災の原因になります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない、また、重い物をのせたり、挟み込んだりしない**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用時、部屋の全てのドアを閉じる**
障害物などにより、充電ステーションに戻れないおそれがあります。
- 濡れる場所に置かない**
感電・発火の原因となります。
- 次のものを吸わせない**
 - ガソリン、灯油、揮発油、シンナーなどの引火物
 - トナーなどの可燃物
 - 火の気のあるもの
 - 金属製のもの火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くまた、ぬれた手で抜き差ししない**
感電やけがをすることがあります。
- 充電ステーションの内部に針金や金属片などを差し込んだり、接続端子に接続しない**
発熱・発火・感電の原因になります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む**
感電や発熱による火災の原因になります。
- 子供やペットの近くで使わない**
けがの原因となります。
- 乳幼児のいる場所では、充電ステーションや本体を使わない・子供には扱わせない**
おもちゃにして本体の故障やけがの原因になります。
- 本体(集塵ケースは除く)や充電ステーションを水洗いしない**
感電、故障の原因になります。
- 動作中は底面のサイドブラシや、車輪などには触れない**
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

注意

- 充電完了直後は、本体の充電用の接続端子に触れない**
熱くなっていますので火傷のおそれがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。
- 排気口から金属片や針金を差し込んだり、コインや水などの液体やゴミなどを入れない**
発熱・発火・感電の原因になります。
- 引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、ヘアスプレー、防臭剤など)の近くで使用しない**
本体は帯電する可能性があるため、爆発や火災の原因になります。
- 本体のセンサー部、バンパー部、駆動輪などを変形させたり、シールやテープなどを貼ったりしない**
過熱によってセンサーが正常に検知しなくなり、異常動作したり、故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**
感電やショートして発火することがあります。
- 吸込口や排気口をふさいで運転しない**
過熱による本体の変形・発火の原因になります。
- 次の場所では使用しない**
 - 屋外・テーブル上、棚
 - 風呂場、洗面所またはぬれた床
 - 倉庫、工場・通風口、天井裏
 - 階段・屋根裏または地下
 - 暖房機の周辺
 - タイル張りの床、大理石等の石材の床
 - コンクリートの床、石畳
 - アスファルトの床など床などを傷めたり故障の原因となります。
- UV除菌ランプは直視しない**
目に障害が起きる原因になります。

■充電電池の取扱いについて

危険

- この充電電池は本機以外の機器に使用しない**
過電流により、充電電池が液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 端子どうしを針金などの金属類で接続しない**
金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり過電流が流れ、電池を発熱、破裂、発火、液もれさせる原因になります。
- 充電電池を分解したり、改造をしない**
充電電池の液漏れ、発熱、破裂、発火させる原因になります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしない**
充電電池から電解液が噴き出したり、電池を破裂、発火させる原因になります。

注意

- 内部からもれた充電電池の液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流す**
そのままにしておくと、皮膚がかぶれる原因になります。
- 機器を長期間使用しない場合、本体の電源を切り充電電池を本体から取り外しておく**
電池切れの原因となります。
- 水や海水などにつけたり、ぬらさない**
発熱させる原因になります。
- 充電電池を単独で充電しない**
充電電池の液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
- 充電式電池の破棄について**
ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になった充電電池(ニッケル水素電池)はリサイクル協力店にお持ちください。リサイクル及びリサイクル協力店については(社)電池工業会のホームページ <http://www.bai.or.jp/> を参照してください。

Ni-MH

警告

- 外装チューブをはがしたり、傷をつけたりしない**
充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 充電電池が液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは使用しない**
充電電池の発熱・破裂・発火の原因になります。床に付着すると損害を与えることがあります。
- 内部からもれた充電電池の液が目に入ったときは、すぐきれいな水で洗い、医師の治療を受ける**
そのままにしておくと、目に障害が起きる原因になります。
- 充電中に充電電池が異常に熱くなっていたら、ACアダプターの接続をはずし、充電を止める**
充電電池の破裂・発火の原因になります。

免責事項について

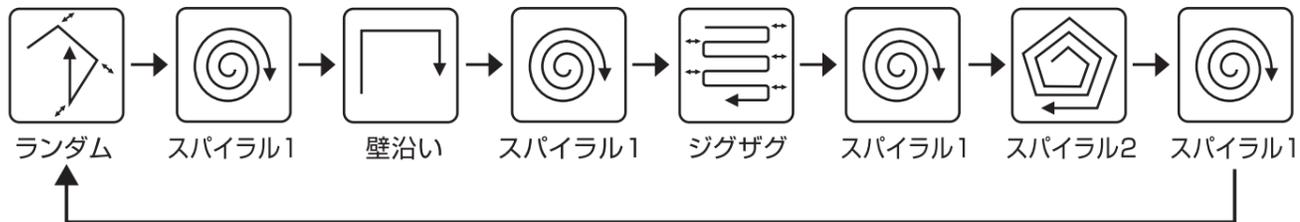
・地震、雷、風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

商品の特長

SZ-400 ロボクリーナーは極めて画期的な自動動作式・掃除機であり、家庭の床に最適な掃除機として設計されたものです。

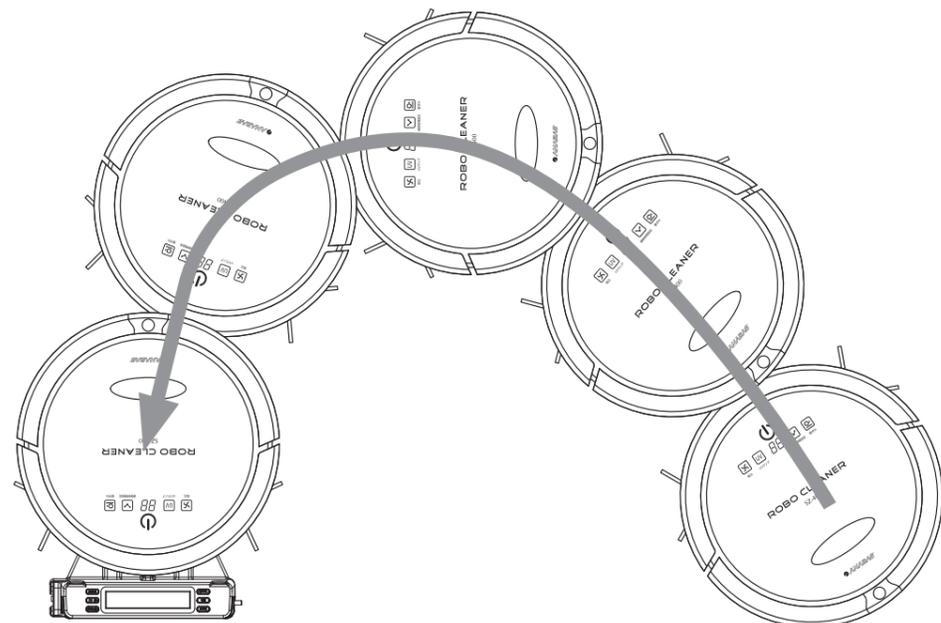


SZ-400 ロボクリーナーはまさに皆様のお手伝いをする掃除ロボットです。SZ-400 ロボクリーナーは5種類の動き、ランダム→スパイラル1→壁沿い→スパイラル1→ジグザグ→スパイラル1→スパイラル2→スパイラル1→ランダムを反復し、壁や家具などの障害物がある場合その壁や家具に沿って動きながら2つのサイドブラシでごみや塵をかき出し、集塵ケース(ダストボックス)に収納します。掃除設定時間内に、この動作を繰り返しながら部屋全体を掃除します。



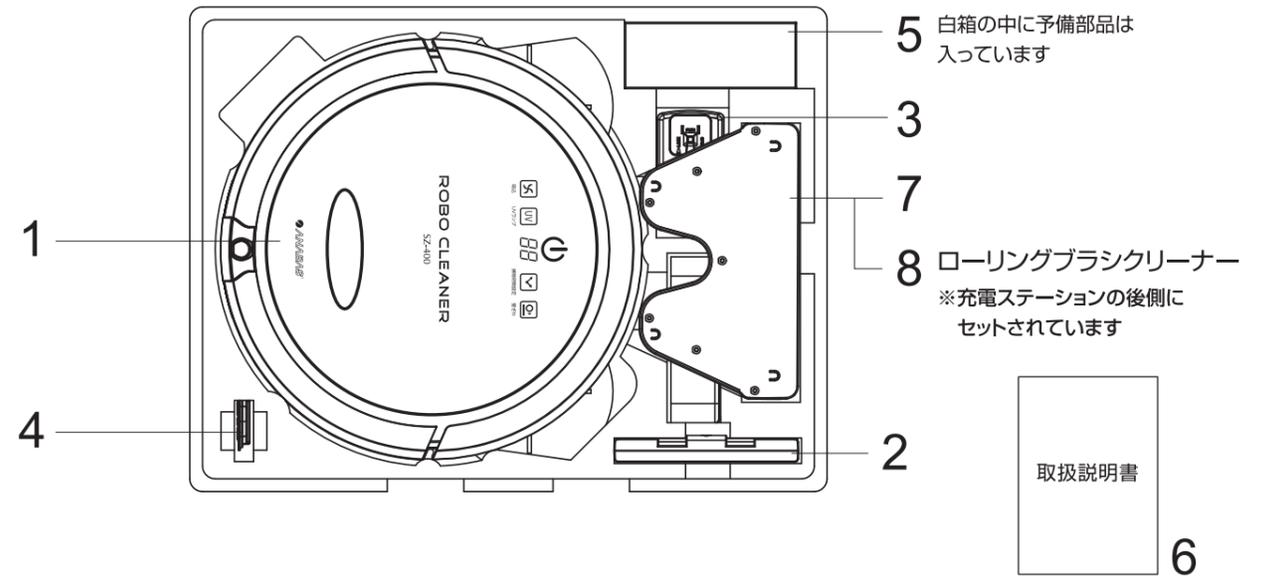
掃除設定時間が終了した時と、掃除設定時間内に充電電池残量が少なくなった場合、本体は自動的に充電ステーションに戻り充電を行い、次のお掃除に備えます。

※これは1つの例です。常にこのような動作に戻る訳ではありません。

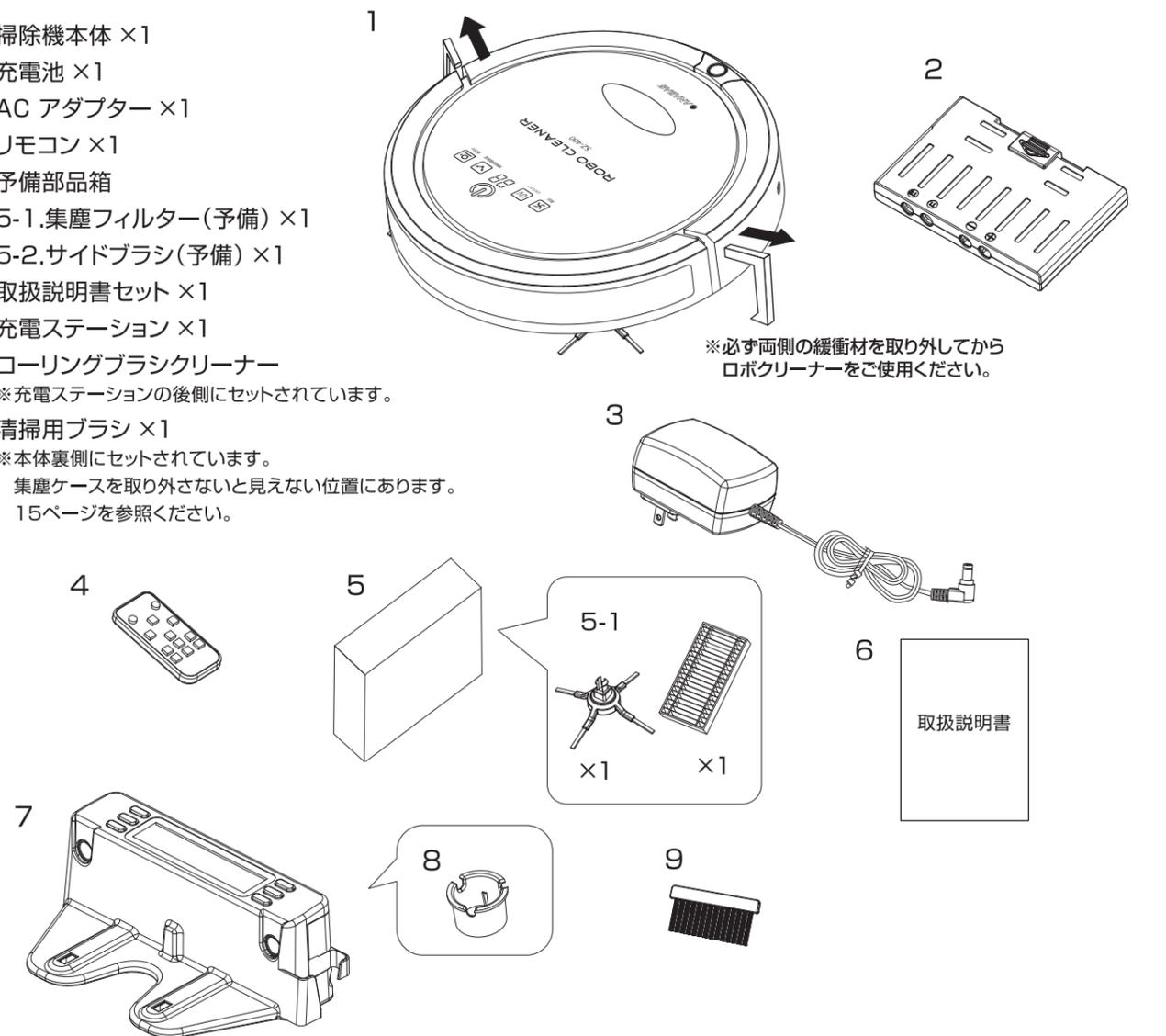


4

本体・付属品リスト



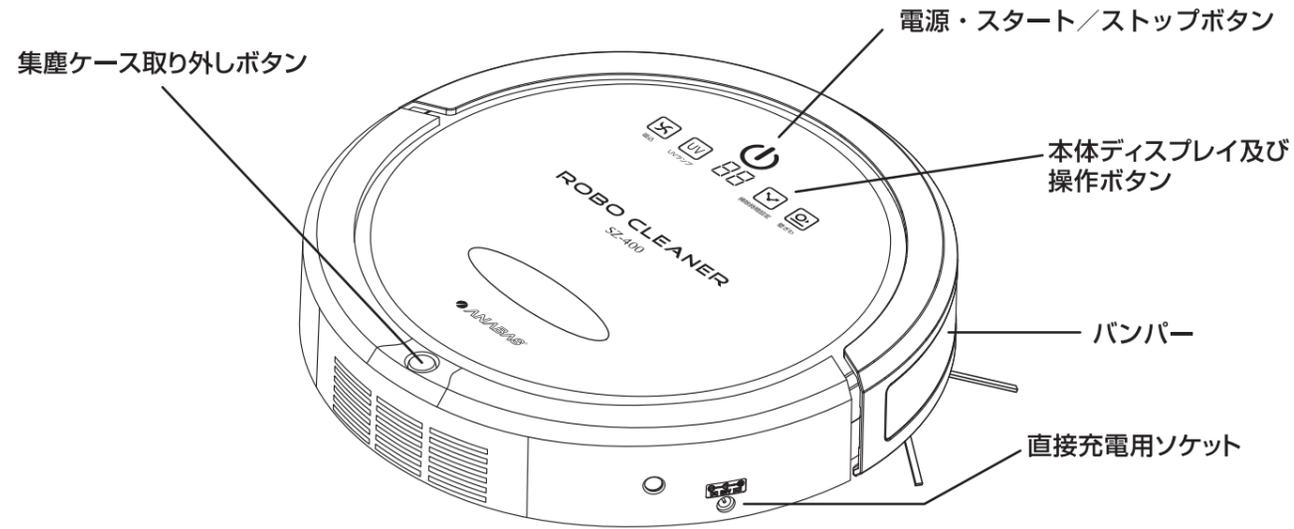
- 1. 掃除機本体 ×1
- 2. 充電電池 ×1
- 3. AC アダプター ×1
- 4. リモコン ×1
- 5. 予備部品箱
 - 5-1. 集塵フィルター(予備) ×1
 - 5-2. サイドブラシ(予備) ×1
- 6. 取扱説明書セット ×1
- 7. 充電ステーション ×1
- 8. ローリングブラシクリーナー
 - ※充電ステーションの後側にセットされています。
- 9. 清掃用ブラシ ×1
 - ※本体裏側にセットされています。
 - 集塵ケースを取り外さないと見えない位置にあります。
 - 15ページを参照ください。



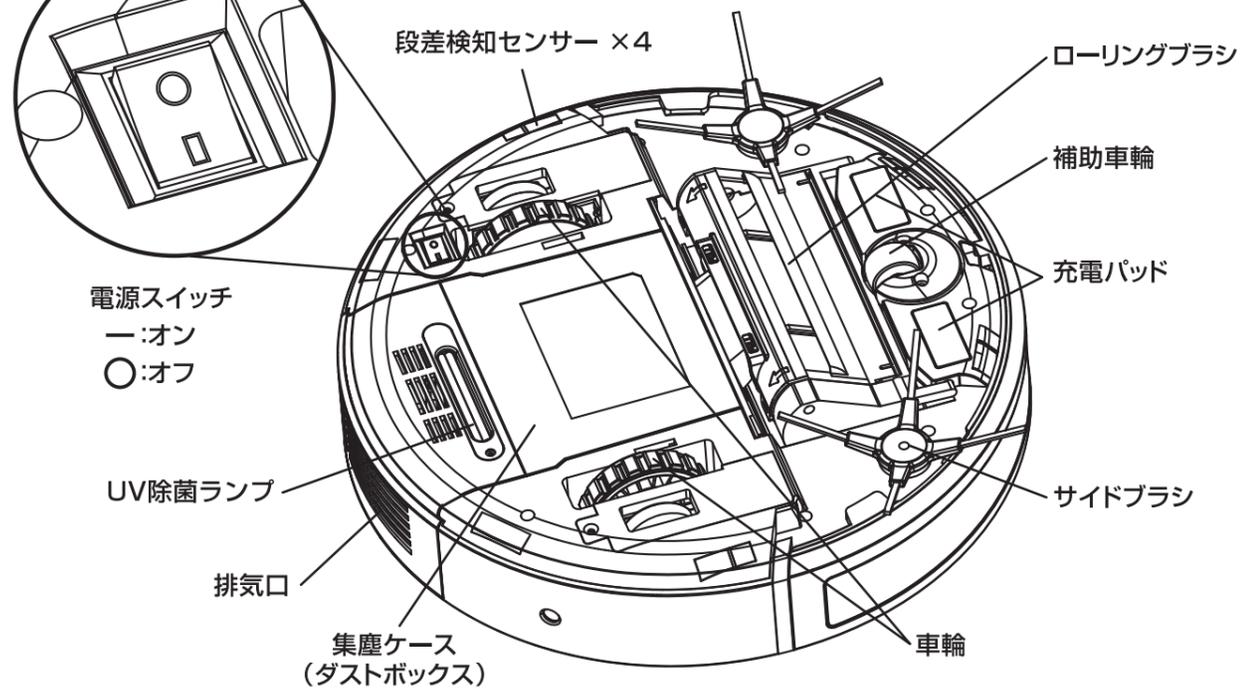
5

主要各部の名称

本体表側



本体裏側

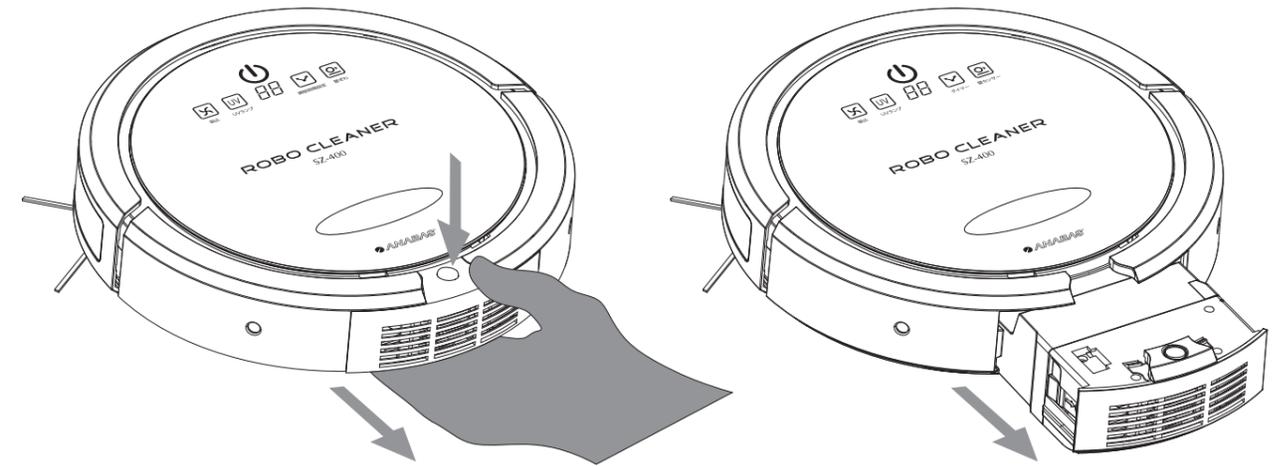


6

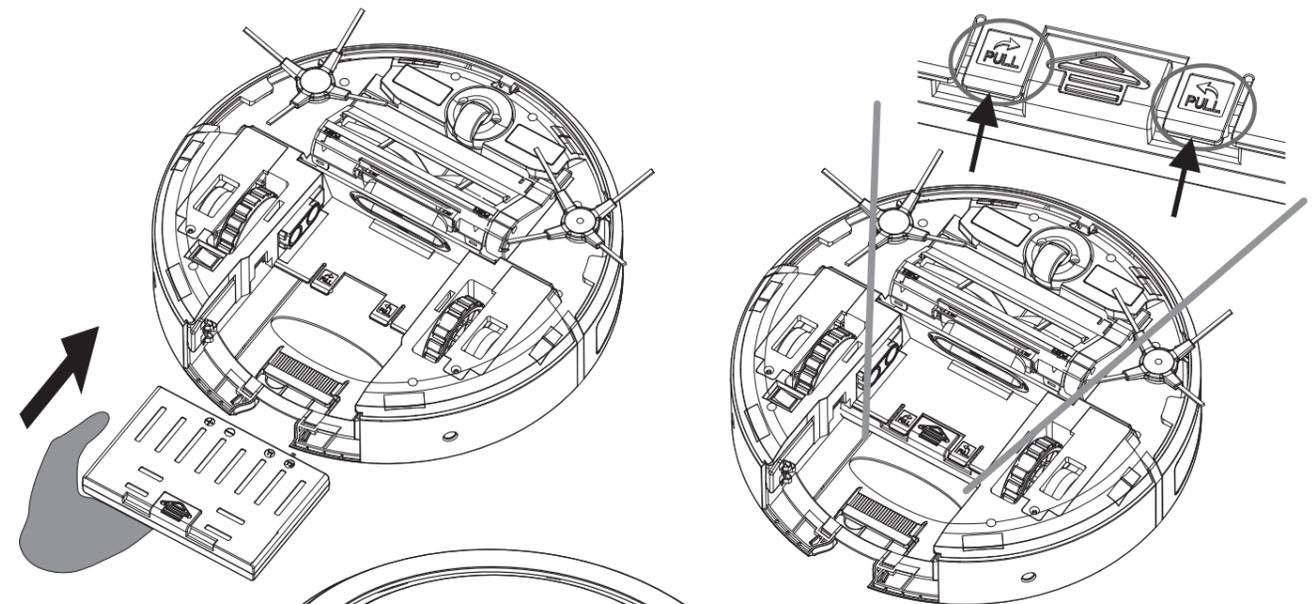
充電電池の装着・取外し方 - 1

充電電池の装着・取外しは、必ず底面の電源スイッチがオフになっている事を確認して下さい。

1 装着の仕方：排気口を手前にして、集塵ケース取り外しボタンを押して集塵ケース(ダストボックス)を引き出します。



2 本体を裏返しにして、充電電池の矢印が見える状態で押し込んでください。



"PULL"フックにて充電電池が固定されていることを確認してください。

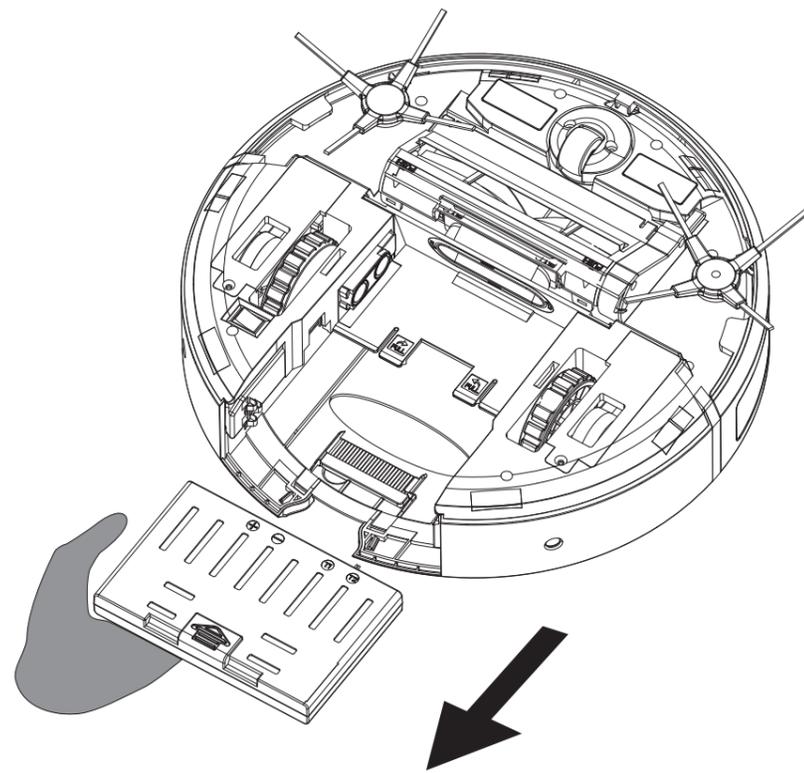
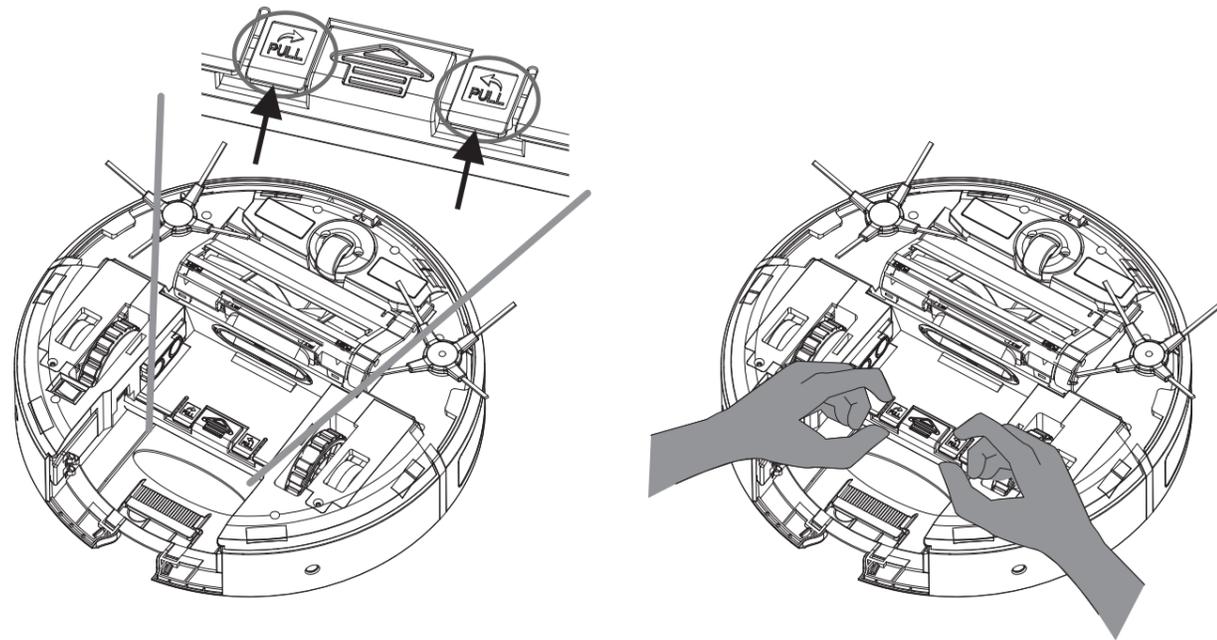
本体を元の状態に戻し、集塵ケース(ダストボックス)を挿入します。
※カチッと音がして固定されたか確認してください。

7

充電電池の装着・取外し方 - 2

3 取外し方：集塵ケース(ダストボックス)の取外し方法は充電電池の装着時と同じです。1を参照してください。

4 “PULL”表示のフックを持ち上げロックを外し、充電電池の矢印部分を持って充電電池を引き出してください。



8

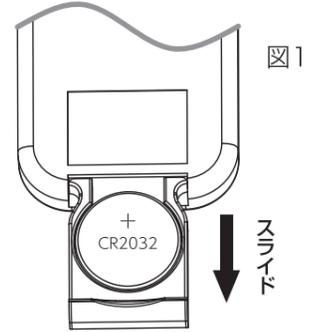
リモコンの機能

1 コイン形電池(CR2032)はリモコンに装着されていますので、リモコンの裏側にある透明シートを外して下さい。
(付属のコイン形電池は工場出荷時の動作確認用です。市販のコイン形電池を文字面が見えるように取付けてご使用下さい。)図1

2 このリモコンを本体に向けて操作してください。

注意

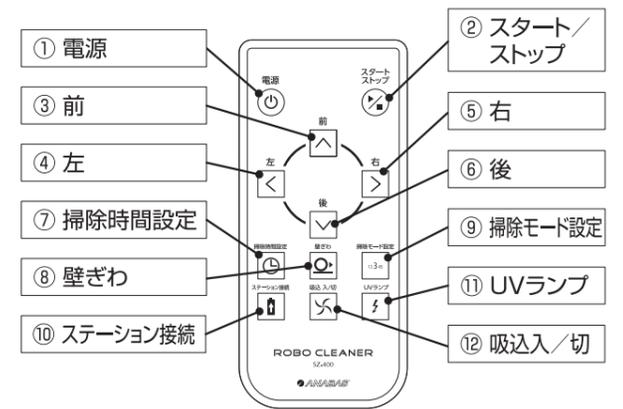
リモコンは、本体が充電ステーションに接続されている状態では操作できません。充電ステーションから一旦本機を外し、本体の電源を入れてから操作して下さい。



3 各ボタンの機能

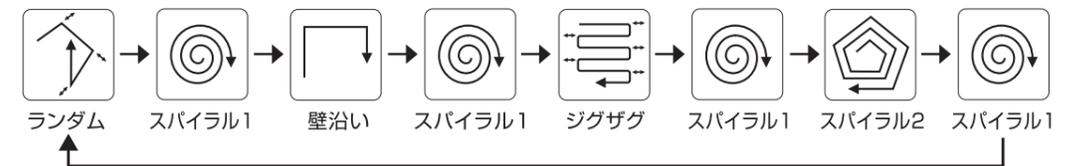
通常はオートモードで動作しますので、モード切替の必要はありません。

- ①電源 本体の電源をオン/オフします。
(14ページ本体操作パネル及び掃除の始め方の“注意”もご確認ください。)
- ②スタート/ストップ 掃除を開始します。/本体を停止させます。
- ③前 本体は前進し、障害物にあたりと停止します。
- ④左 押し続けると左回転を続けます。
- ⑤右 押し続けると右回転を続けます。
- ⑥後 押し続けると後退します。
(注意:後方にスペースが無い場合は、後退させないで下さい。落下、衝突のおそれがあります。)
- ⑦掃除時間設定 押す回数によって掃除時間を変更できます。
14ページの2リモコンのタイマーで掃除時間を選択を参照してください。
掃除を開始します。/本体を停止させます。
- ⑧壁際 障害物センサーをオン/オフします。(詳細は13ページ参照)
- ⑨掃除モード設定



押す回数	表示	動作
1	1	『ランダム』に動作。
2	2	『スパイラル1』の動作。
3	3	『壁沿い』に動作。
4	4	『ジグザグ』に動作。
5	5	『スパイラル2』の動作。
6	A	5種類の動作を繰り返す。

モード切替は掃除中に行うことが出来ませんが、通常はオートモードで動作しますので、モード切替の必要はありません。



⑩ステーション接続 充電ステーションに戻り、充電を開始します。

⑪UVランプ 本体動作中にUV除菌ランプの入/切の切替ができます。

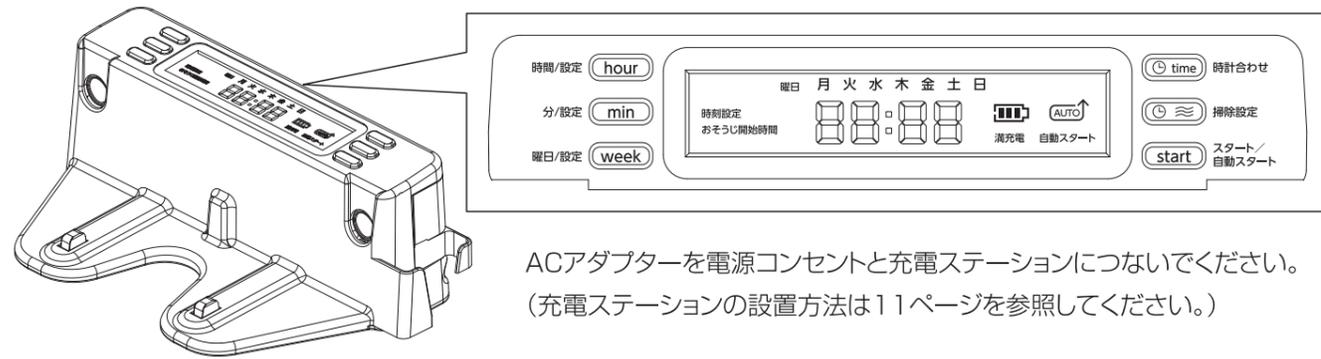
注意

- 掃除中に点灯したUVランプは直視しないで下さい。
- ⑨UVランプは動作中のみ点灯可能です。
- UVランプボタンを押した際、点灯に時間が掛る場合がありますが、仕様であり、異常状態ではありません。
- UVランプ点灯中、時々点滅する様なことがあります。内蔵充電電池の状態を確認する為、一時的に消灯しています。これは仕様であり、異常状態ではありません。

⑫吸込 入/切 吸引動作が停止します。もう一度押しと、吸引動作が入りになります。

9

充電ステーション操作パネル



ACアダプターを電源コンセントと充電ステーションにつないでください。
(充電ステーションの設置方法は11ページを参照してください。)

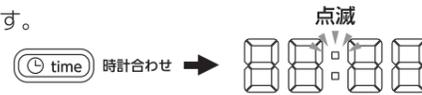
現在の時刻設定方法

時計は24時間表示のみです。

- 『時計合わせ』ボタンを押すと“:”の点滅が停止します。『時間/設定』『分/設定』『曜日/設定』ボタンを使用して時間を調整します。

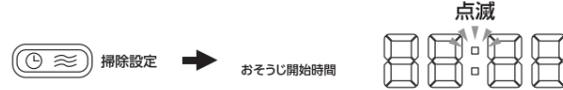


- 再度『時計合わせ』ボタンを押すと時間が確定して、“:”が点滅します。



タイムスケジュール機能の使い方(お掃除開始時間設定方法)

- 『掃除設定』ボタンを押すと“:”の点滅が停止します。(初期の時間表示は --:-- です。)表示部に『おそうじ開始時間』を表示します。



- 2-1. 『曜日/設定』ボタンを押してください。表示部に“月”が出て点滅します。これは掃除をしたい曜日の設定です。この“月”の点滅は8秒間です。点滅中に『曜日/設定』ボタンを押すと掃除を行う曜日として確定します。



- 2-2. 8秒以内に『曜日/設定』ボタンを押さないと“月”をスキップして“火”に行きます。“日”のみを設定したい場合、“月”から“日”に来るまでそのままお待ちください。



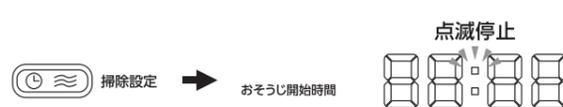
- 2-3. “月”、“水”、“金”など複数曜日の設定も出来ます。その指定したい曜日が点滅している状態で『曜日/設定』ボタンを押して確定してください。



3. 『時間/設定』『分/設定』ボタンを使用してお掃除開始時間を設定します。



4. 再度『掃除設定』ボタンを押して、お掃除開始時間設定を完了します。



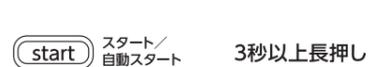
5. 最初に『掃除設定』ボタンを押して掃除設定を行わない時、1分後に解除して時計表示に戻ります。

スタート/自動スタートの設定方法

- 本機(ロボクリーナー)充電中は『スタート/自動スタート』ボタンを1回押しますと充電完了後自動的に掃除を開始します。(表示部には AUTO 自動スタート が点灯しています。)



- 本機(ロボクリーナー)が充電ステーションに接続状態で『スタート/自動スタート』ボタンを3秒以上押しすると直ちに充電ステーションを離れ掃除を開始します。

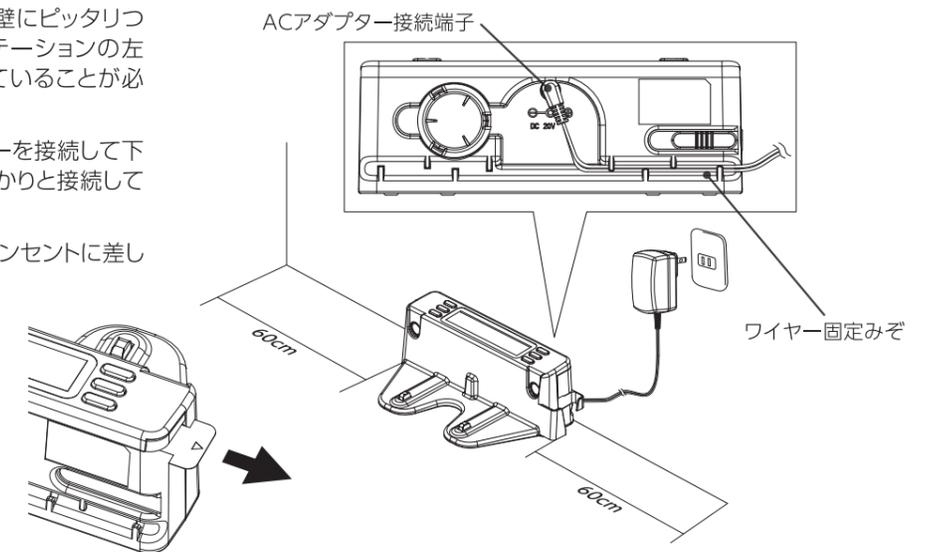


充電ステーションの設置と使い方

お使いはじめや長期間ご使用にならなかった場合は、充電が必要です。

設置方法

- 充電ステーションの黒い底板を壁にピッタリつくように置いて下さい。充電ステーションの左右がそれぞれ60cm以上空いている必要があります。
- 充電ステーションにACアダプターを接続して下さい。(カチッと音がするまでしっかりと接続して下さい。)
- ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込んで下さい。
- 充電ステーション横側に設定時刻バックアップ用コイン電池(CR2032)が装着されていますので透明シートを外して下さい。

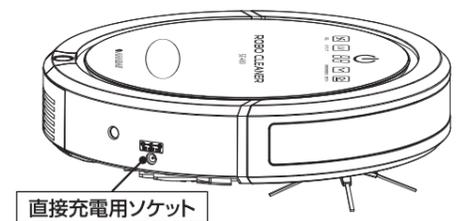


動作テスト

- 本体操作パネルの『電源』ボタンを押して、電源を入れて下さい。
- 『スタート/ストップ』ボタンを押して掃除を開始して下さい。
- リモコンの『ドッキング』ボタンを押し、本体が充電ステーションを自動的に検知し、戻るか確認して下さい。
- 本体が充電ステーションに戻らない場合は、充電ステーションの取付け方法が適切かどうか確認して下さい。

直接充電方法について

- 掃除が終了すると、本体は充電の為に充電ステーションの位置を探します。本体が、充電ステーションに戻る前に電池切れを起こし停止した場合は、本体にACアダプターを直接(本体側面の直接充電用ソケット)接続して充電して下さい。



充電ステーションに戻らない場合

- 稀に充電ステーションから遠い場合に時間がかかるケースがあります。その場合は、本体を手を持って充電ステーションのそばに移動して下さい。(図1)本体を落とさないように注意してください。
- 充電ステーションのそばに置いて、本体の電源スイッチをONにしてリモコンのドッキングボタンを押して下さい。(図1)

注意

- 短時間掃除した場合、充電ステーションに戻って充電開始した後、長時間電源ランプが点滅する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電中にACアダプターを電源コンセントからはずした場合は、および停電の場合は、自動スタートの設定が解除されますので、再度設定して下さい。
- 充電ステーションは本機との通信を2.4GHzの電波で行っております。そのため、他のエレクトロニクス機器の近くでご使用の場合、正常に動作しないことがあります。

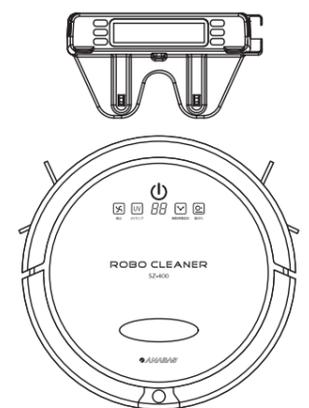


図1

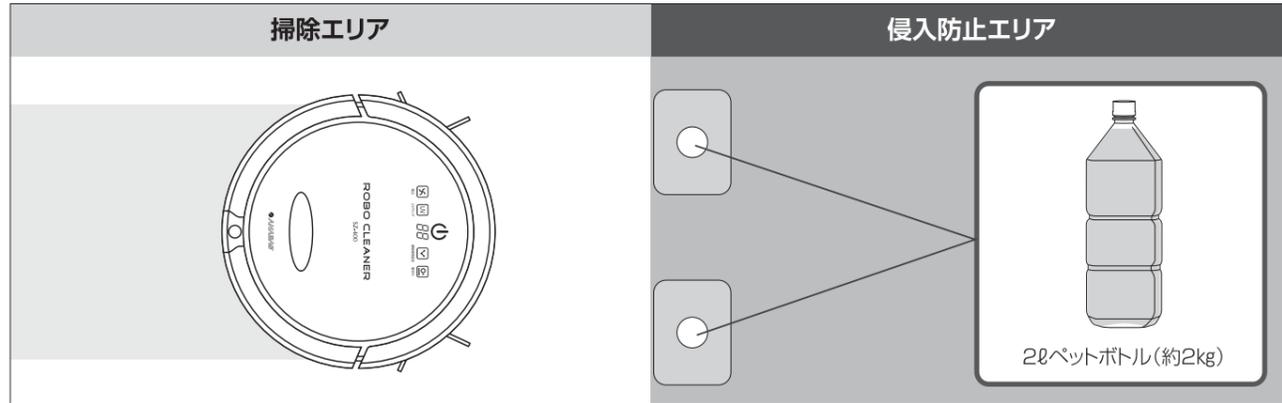
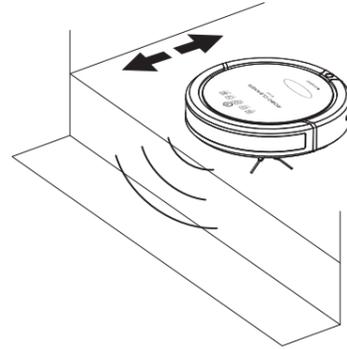
センサー機能と使用上の注意

■落下防止機能について

本機は段差検知センサーにより、階段や玄関等からの落下を防止する仕様になっておりますが、落下しないことを保証するものではありません。(落下による本機及び、床や壁などの損傷などについては補償いたしかねます)

段差検知センサーに付着するゴミ、直射日光、および、照明器具等からの光、他の機器からのノイズなどの影響を受けて段差検知センサーが正常に作動しないことがあります。

本機の侵入防止の為に、中身の入った2Lペットボトル(約2kg)等をご使用ください。



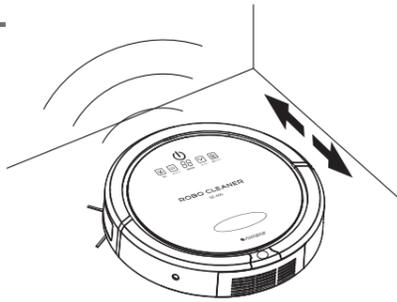
■壁ぎわセンサー機能について

本体ディスプレイの「壁ぎわ」が点灯状態になっている時は障害物センサーが働いており、壁や家具などに衝突する前に後退します。(初期状態では、この機能はオンになっております。)

リモコンの「壁ぎわ」ボタンを押しますと、本体ディスプレイが消灯してオフになります。この状態では、センサーは働いておらず、壁や家具などに衝突するまで前進して、その後、後退します。

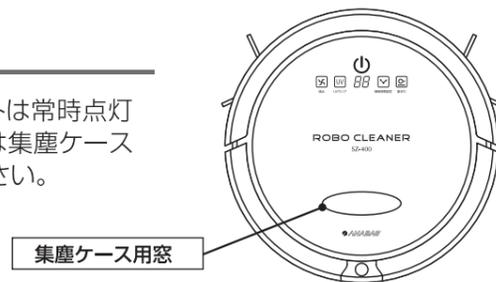
再度、オンにするには、もう一度、リモコンの「壁ぎわ」ボタンを押して、本体ディスプレイ、点灯状態にして下さい。

※この壁ぎわセンサーは、壁に衝突しないことを保証するものではありません。センサーが検知しにくい場所や、テーブル、いすなどの細い足などは、検知せずに接触することがあります。接触、転倒すると壊れる物、傷付きやすい家具などはあらかじめ移動させて置いて下さい。



■集塵ケース、ゴミセンサー機能について

集塵ケース内のゴミが少ない時には、集塵ケース用窓から見えるライトは常時点灯していますが、ゴミがいっぱいになりますと点滅を始めます。その際には集塵ケースのゴミを取除いてください。詳細は15ページお手入れ方法を参照ください。



お掃除の前に

最初、ご使用開始時に目立たない場所の狭い範囲でお試し操作をお願いいたします。その時、フローリングに車輪(タイヤ)の跡がついていないかご注意願います。

まれにフローリングの材質や色によっては車輪(タイヤ)の跡がつく可能性があります。その場合はご使用を中止してください。

- 衣類、紙、ビニール袋、ひも、ペットのトイレ、食器類、おもちゃ及び小物等は移動して下さい。電気コードや接続コード、延長コードは絡まないようにまとめて下さい。カーテンや床までたれているようなテーブルカバーは、巻き上げて下さい。
- 次の物は吸わせないで下さい。

- 1)ピン、ガラス、刃物等の鋭利な物
- 2)水などの液体や湿った塵
- 3)ペット用の砂、小石、薬剤やパウダー状の粉末物等目詰まりする物

- 乳幼児や小さなお子さまがいる状況では、本機をお子さまに近づけないで下さい。
- ペットは柵等に入れ、本機に近づけないで下さい。けがをするおそれがあります。
- 部屋の隅等は、お掃除が出来ない場合があります。

注意

以下の場所での使用はしないで下さい。敷物や床面、物品を傷めたり本機が故障または誤作動するおそれがあります。

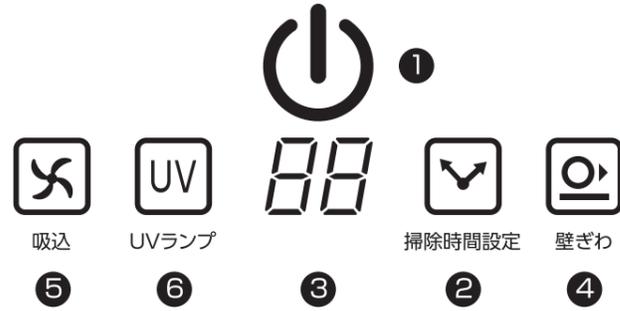
- 毛足の長いカーペットのある場所
- デリケートなカーペット
- 毛皮、ムートン等のある場所
- 柔らかい材質の床面
- 濃い色のフローリング床面、光沢のある床面
- 太陽光および反射光が当たる場所
- 風呂場、洗面所またはぬれた床
- タイル張りの床、大理石等の石材の床
- 新築間もない床面と壁面
- 光沢のある家具、屏風、高価な置物、陶器、ガラス細工などがある場所
- 屋外・テーブル上、棚
- 段差のない玄関等
- コンクリートの床面、石畳、アスファルトの床面
- 暖房機の周辺
- 倉庫、工場・通風口、天井裏
- 階段・屋根裏または地下
- 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすいものなどがある場所

本体のエラー表示

下記のような時、掃除時間表示部にエラー番号が表示されます。下記の箇所について確認してください。

エラー内容	確認箇所
E1: 前面段差センサー検知不良	段差感知センサーの汚れ、ゴミの付着確認
E2: 充電エラー	充電ステーションとの接続確認
E3: フロントバンパー動作不良	バンパーにゴミなどが引っ掛かっているか確認
E4: 充電池異常	充電池の温度が高くなっていないか確認
E5: 左側車輪がロック状態	左側車輪が固定されていないか確認
E6: 右側車輪がロック状態	右側車輪が固定されていないか確認
E7: サイドブラシがロック状態	サイドブラシのゴミなどの絡まり確認
E8: ローリングブラシがロック状態	ローリングブラシのゴミなどの絡まり確認
E9: 吸引モーターがロック状態	吸引モーターのゴミなどの絡まり確認

本体操作パネル及び掃除の始め方



- ① 電源/スタート/ストップボタン 本体底面のシーソータイプ電源スイッチオン時(一側に押された状態の時)このボタンを押すと電源がオンします。もう一度押しますと掃除を開始します。停止するには再度、このボタンを押すと停止します。電源をオフにするには、このボタンを3秒間押ししてください。
 - ② 掃除時間設定ボタン 掃除時間設定時に点滅します。掃除開始後点灯に変わります。
 - ③ 掃除時間表示 設定時間を設定時のみ表示します。掃除開始10秒後に掃除時間表示は消えます。またエラー表示もいたします。
 - ④ 壁ぎわ オン/オフボタン 壁感知モード機能を設定した時に点灯します。点滅時はオフです。
 - ⑤ 吸引 オン/オフボタン 吸引モーターを停止した時に点灯します。点滅時はオフです。
 - ⑥ UVランプ オン/オフボタン UV除菌ランプを設定した時に点灯します。点滅時はオフです。
- ※④⑤⑥ ボタンは掃除開始後、設定がオフであれば消灯します。

注意

本体底面にある電源スイッチがオフの状態(○側に押されている時)はリモコン操作は出来ません。本体底面の電源スイッチをオン状態(一側に押した状態)にしてから、本体操作パネルまたはリモコンにて操作してください。

- 1 本体操作パネルの『① 電源/スタート/ストップボタン』を押すとそのボタンが点灯します。(リモコンでは『電源ボタン』)
 - 2 リモコン及び本体『② 掃除時間設定』のタイマーボタンで掃除時間を選択します。
※初期設定は60分になっています。変更後はその時間をバックアップしています。
※掃除開始10秒後に掃除時間表示は消えます。
-
- 3 本体上面の『① 電源/スタート/ストップ』ボタン(リモコンでは『スタート/ストップ』ボタン)を押すと掃除を始めます。もう一度押すと停止します。掃除終了後は、本体が自動的に充電ステーションに戻り充電を開始します。なお充電ステーションに戻る時は吸引モーターとサイドブラシは止まった状態になります。

掃除の中断

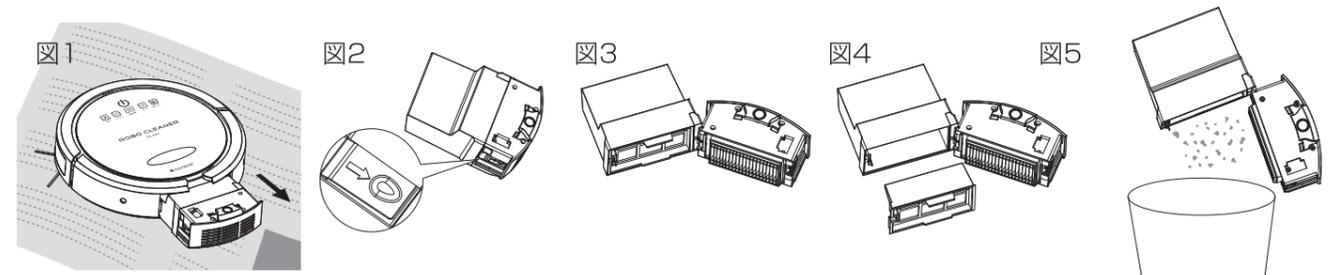
- 1 掃除を直ちに止めたい場合、本体操作パネルの『① 電源/スタート/ストップ』ボタン、またはリモコンの『スタート/ストップ』ボタンを押してください。(本体を床から手で持ち上げても、約3秒後に本体の動作が停止します。ただし、その際はエラーの「E1」(前面段差センサー検知不良)が表示しますが、手で持ち上げたことによるものなので無視してください。)
- 2 再度掃除を続けたい場合は、本体を床に置き、本体操作パネルの『① 電源/スタート/ストップ』ボタンを押すか、リモコンの『スタート/ストップ』ボタンを押してください。(エラー「E1」は消え通常状態に戻ります。)

お手入れ - 1

■お手入れ方法

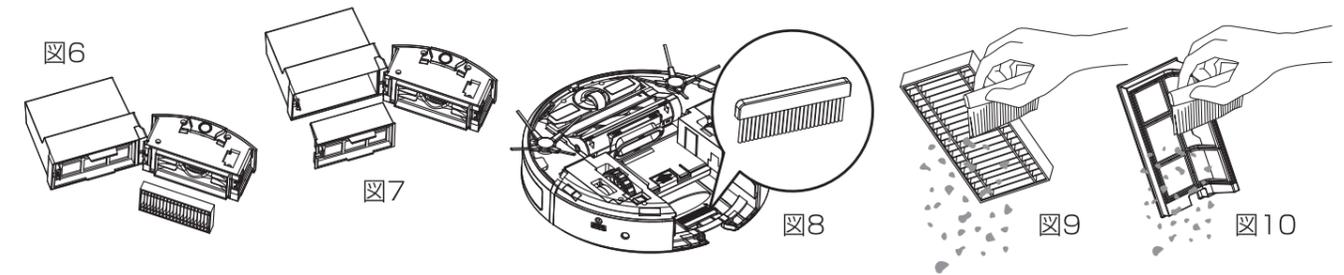
毎回ご使用前に集塵ケース(ダストボックス)と集塵フィルターに残っているゴミを取除いてください。ごみの吸込み口やサイドブラシ、ローリングブラシはゴミや髪の毛が付着したり、巻き付いていないか確認してください。

- 1 新聞紙などを敷いた上に本機を置き取外しボタンを押し、図1のように集塵ケース(ダストボックス)を外してください。
- 2 図2~5のように、集塵ケース(ダストボックス)横に有るボタンを押してボックス内のゴミを取り除いてください。

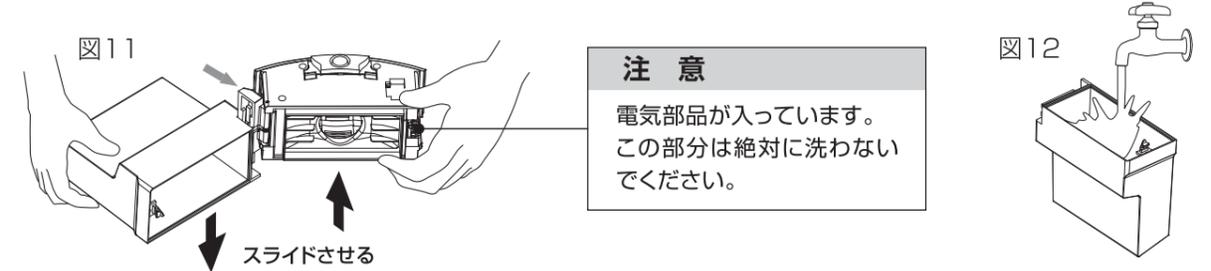


集塵ケース取り外しボタンを押しながらダストボックスを引き出してください。

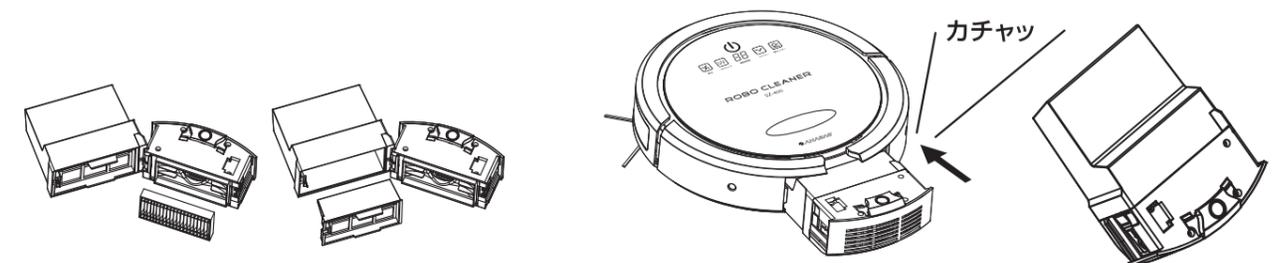
- 3 図6-7のように集塵フィルター及びフィルター枠を外してください。
- 4 図8にあるブラシを使用して図9-10のようにフィルターを掃除してください。(水洗いはしないでください。)



- 5 汚れがひどい場合は、図11のようにダストボックスから集塵ケースを取り外し図12のように水または中性洗剤で洗ってください。



- 6 完全に乾いた後、フィルター及びフィルター枠と集塵ケース(ダストボックス)をセットして本体に装着してください。

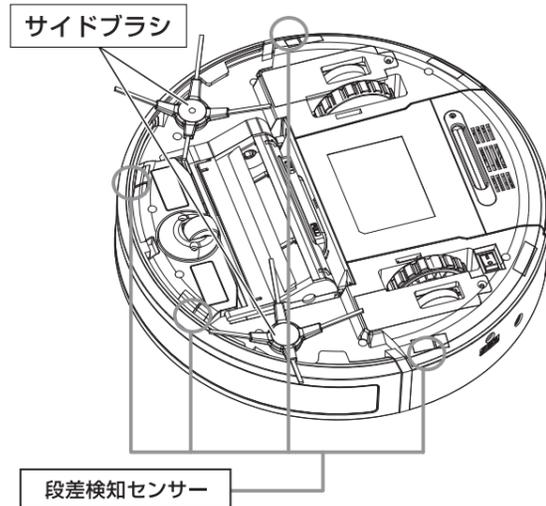


お手入れ - 2

■吸込口・サイドブラシの掃除

本体内の空気の流れを妨げるものはないかを確認し、吸込口やその内側にゴミが付着している場合は、本体底面の電源スイッチを『○(オフ)』にし、吸込口やその内側を掃除して下さい。

又、サイドブラシにゴミや髪の毛が巻き付いている場合は、ブラシなどで取除いて下さい。



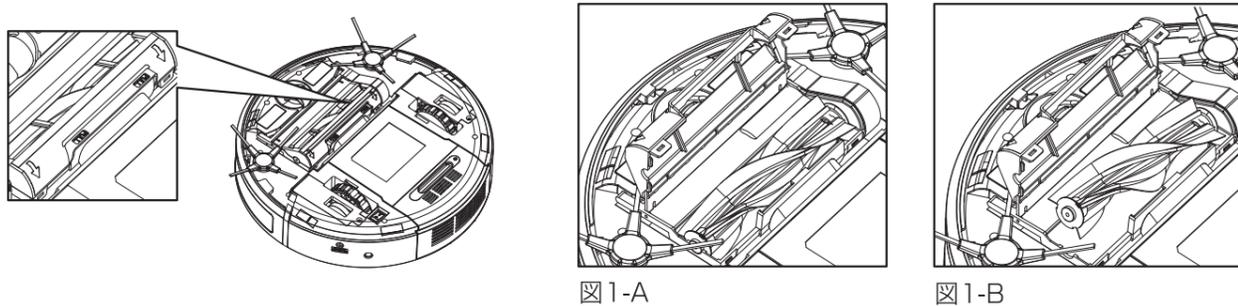
■段差感知センサーの掃除

本体裏側の段差検知センサー(4カ所)にゴミなどが付着していないことを確認して下さい。

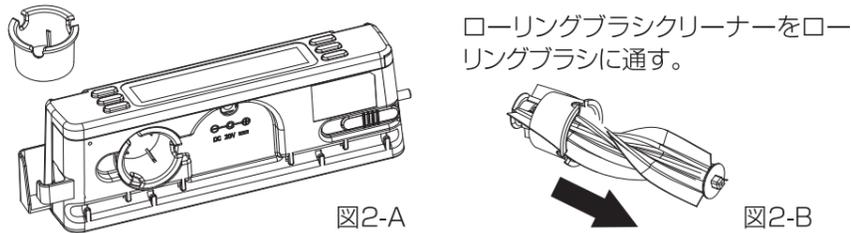
誤作動の原因となりますので、付着している場合は、取除いて下さい。

■ローリングブラシの掃除

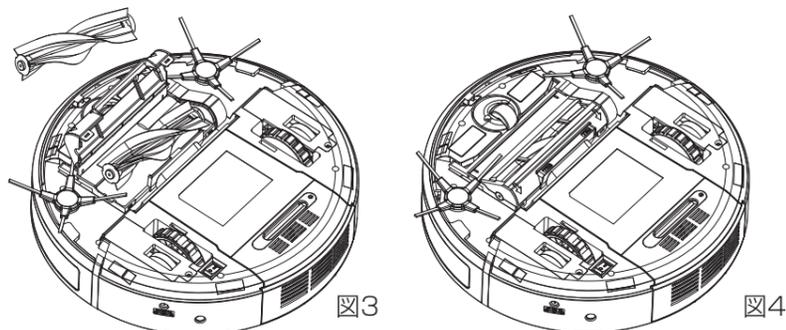
- 1 本体底面の電源スイッチが『○(オフ)』の状態であることを確認し、平らな所で本体底部を上にして置いて下さい。
- 2 取外す場合は、図のように置き、ローリングブラシカバーを引き上げて、ローリングブラシの手前側を上を持ち上げれば取り外しができます。(図1-B)



- 3 充電ステーションの裏側にセットされているローリングブラシクリーナーで髪の毛やその他のゴミを取除いてください。(図2-A、図2-B)

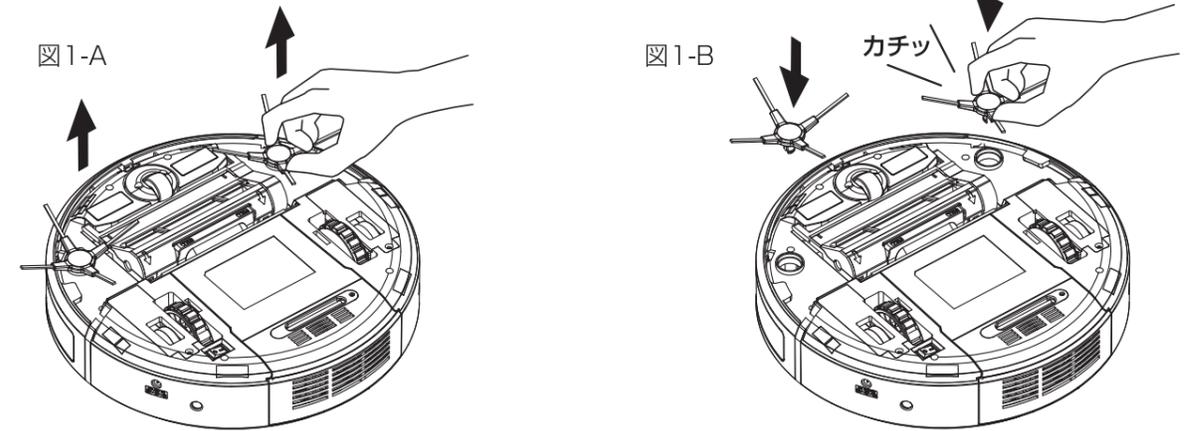


- 4 取り付ける場合は、ローリングブラシを奥側に差込み、手前側の溝に合わせて入れローリングブラシカバーを元に戻します。



サイドブラシの取付け・取外し方

- 1 サイドブラシは工場出荷時、本体底面に取付けてあります。
- 2 取外す場合は、図のように、ブラシ部分を持ってひっぱり上げて取外します。(図1-A)
- 3 取付ける場合は、図1-Bのように、サイドブラシを押し込んで取付けます。



通信機能の設定 - 1

注意：修理、交換した際、又は追加で充電ステーションを購入された際には必要な作業です。

- 本機(ロボクリーナー)は、同梱の充電ステーション間で通信を行っており、同梱品を認識しております。(1台、認識済)
- もし、紛失、故障などで、同梱品を交換した場合、又は、本機を修理、交換した場合は、再度、個々を認識させる必要があります。
- 大変申し訳ありませんが、下記の手順に従い、本機と同梱品を再認識させてください。本機を交換していなければ、修理、交換した同梱品のみ(交換した、充電ステーションのみ)再認識させてください。もし、本機を交換した場合、本機と同梱品(充電ステーション)を認識させてください。
- 本機は、最大2個の充電ステーションを認識することが出来ます。本製品をご購入していただいた際には、既に充電ステーション、1台が認識している状態です。追加で充電ステーションを購入された際には、下記の作業をお願いします。(追加購入については、太知ホールディングスサービスセンターにお問い合わせ下さい。)

■通信機能の設定の準備



- 1 本機(ロボクリーナー)の電源ボタンを押して、オン状態にしてください。
- 2 UVランプボタンをピピッ音がするまで押して、通信モードにしてください。
- 3 表示部に【Cd】を表示して待機状態になります。
- 4 【吸込】ランプが点灯します。

通信機能の設定 - 2

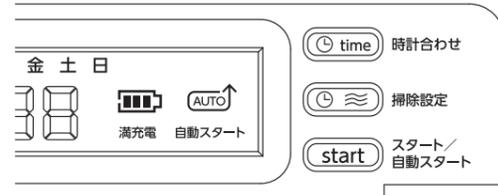
認識している充電ステーションを解除したい時。

- 1 本機(ロボクリーナー)の電源ボタンを押して、オン状態にしてください。
- 2 UVボタンをピピっ音がするまで押して、通信モードにしてください。
- 3 表示部に【**d**】を表示して待機状態の時に、更にUVボタンをピピッと音がするまで押してください。
- 4 表示部の【**d**】以外、全てのランプが消灯します。これで認識は解除されました。電源ボタンを押してオフにしてくださいと、終了ですが、充電ステーションは全て使用出来ません。
- 5 再度、充電ステーションを御使用の際は、17~18ページの「通信機能の設定の準備」及び「充電ステーションを再認識させる」で認識作業を行ってください。

充電ステーションを再認識させる。

本体(ロボクリーナー)の表示部に【**d**】を表示している状態の時に。

- 1 ACアダプターを接続して、充電ステーションの電源をオンにしてください。
- 2 時計合わせ(Time)ボタンを押し続けてください。
- 3 ピピッと音がすると、充電ステーションの認識完了です。
- 4 本体(ロボクリーナー)の電源ボタンを押してオフにして作業を終了します。



安全にご使用いただく為に(3ページのつづき)

本機の使用周波数(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分注意してご使用ください。

1. 本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から他の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器の近くに設置した場合、正常に動作しない可能性があります。

故障かなと思ったら

このようなときは	考えられる原因	ご確認ください
電源が入らない	1.充電池を入れていない 2.本体底面の電源スイッチが入っていない	1.充電池を正しく入れる 2.底面の電源スイッチをオンにする
警告ランプが点灯する	1.本体の充電池切れ 2.センサーが異常を感知している 3.太陽光線などの強い光が本体に当たっている 4.電子レンジ、テレビ、ラジオなどが近くにある	1.充電をする 2.異物などを取り除き充電池を再度取付ける 警告ランプが消えない場合は弊社サポートセンターまで問合せ下さい 3.光をさえぎって使用する 4.機器から遠ざけて使用する
充電ができない、電源/充電中ランプが点灯しない	1.充電池の取付けが不完全、または取付けられていない 2.ACアダプターが正しく接続されていない 3.充電ステーションが正しく取付けられていない 4.充電池の温度が高い	1.充電池を正しく取付ける 2.ACアダプターを正しく接続する 3.本体と充電ステーションの接触位置を確認し、取付け位置の調整をする 4.充電池を冷ましてから使用する
リモコンで動作しない	1.リモコンの透明シートを外していない 2.リモコンの電池切れ、未装着、装着が不完全 3.電子レンジなどの影響を受けている	1.リモコンの透明シートを外す 2.新しい電池と交換する (電池の文字面が見えるように取付ける) 3.電子レンジを止めてみる
本体が充電ステーションに戻らない	1.充電ステーションが壁際に正しく設置されていない 2.障害物が本体と充電ステーションの間にある 3.本体の充電池切れ 4.本体車輪に何か付着している	1.充電ステーションを壁際に正しく設置する 2.障害物を取除く 3.充電をする 4.車輪に付着している異物を取除く
充電ステーションで充電完了後も自動スタートしない	1.充電ステーションの「自動スタート」機能がセットされていない 2.充電池の温度が高い	1.「自動スタート」機能をセットする 2.充電池を冷ましてから使用する
短時間(数分)で充電が完了し、掃除時間も設定時間より短い	1.充電池の放電(掃除時間)が十分に行われていない 2.充電池の劣化	1.十分に放電し充電する 掃除を連続して4~5回繰り返し(放電)、本体が自動的に充電ステーションに戻り充電をする 2.充電池を交換する
ローリングブラシ、サイドブラシが、うまく動作しない	1.ブラシが絡んで変形している	1.ローリングブラシ、サイドブラシを整える、または交換する
後進しかない	1.段差検知センサーにゴミが付いている	1.段差検知センサーを掃除する、又は修理依頼をする
回転動作を続ける	1.車輪にゴミが付いている 2.片輪が動いていない	1.車輪を掃除する 2.修理依頼をする

よくある質問 (Q&A)

掃除時間 について	<p>Q.一回の充電で、どのくらいの時間掃除をしますか?</p> <p>A.充電機の状態ですが、新しい充電機で約60分間掃除をします。</p>
段差 について	<p>Q.段差はどのくらいまで乗り越えますか?</p> <p>A.床上から約1cmです。</p>
落下防止 について	<p>Q.階段(段差)から落下しませんか?</p> <p>A.100%落下しないことを保証することはできません。 本体が、直射日光・特殊な蛍光灯電磁波・種々の電気ノイズを受けたり、段差センサーの汚れ等により、誤動作を起こす可能性がある為です。 *階段(段差)には、2Lのペットボトルなどの障害物を置くなどの物理的に落下を防ぐことをお勧めしています。(取扱説明書のP.12の「落下防止機能について」をご参照ください。)</p>
仕事率 について	<p>Q.吸込み仕事率はどのくらいですか?</p> <p>A.自走機構をもつ掃除機は、吸込み仕事率の測定方法が規定されていない為、算出できません。 □ボクリーナーは動きながら吸込みますので、他の一般的な掃除機とは構造が異なり、吸込み仕事率の測定方法が規定されていません。</p>
キズ について	<p>Q.フローリングの床面にキズは付きませんか?</p> <p>A.ゴム付き車輪で走行しますが、100%キズがつかないことをお約束はできません。 取扱説明書のP.13「お掃除の前に」の項目の「ご注意」をご参照ください。 代表的な例として、柔らかい材質の床面、新築間もない床面、濃い色の床面・光沢のある床面等では使用しないようお勧めしております。 目立たない場所でご使用して頂き、傷がつかない事を確認してからご使用ください。</p>
充電・充電機 について	<p>Q.充電時間はどのくらいですか?</p> <p>A.充電機の残量により異なりますが、最長2.5時間程度です。</p> <p>Q.充電機の寿命はどのくらいですか?</p> <p>A.毎日1回ご使用になられた場合、約1～1年半で寿命がきます。 寿命目安は、400～500回のご使用です。 *交換用 充電機も販売しております。</p> <p>Q.全く使用しなくても、充電機は寿命がきますか?</p> <p>A.乾電池と同様に全く使用しなくても寿命がきます。</p> <p>Q.一回の充電で電気代は、どのくらいですか?</p> <p>A.2時間半の充電時間で、約1円です。</p> <p>Q.充電ステーションに戻るまでの間に、充電機切れで停止したらどのように充電するのですか?</p> <p>A.本体側面の「直接充電用ソケット」を使用してACアダプターから直接充電してください。 取扱説明書11ページの「直接充電方法について」をご参照ください。</p> <p>Q.充電ステーションを設置する場所は、壁にぴったりつけて設置する必要がありますか?</p> <p>A.充電ステーションは、本体との接触で動かないようにするため壁際の設置が必要です。</p>
リモコン について	<p>Q.本体の電源スイッチはなぜ、リモコンでONできないのですか?</p> <p>A.操作は行えますが、本体底面の電源スイッチがオフ状態だと使用出来ません。 14ページの「本体操作パネル及び掃除の始め方」注意を確認ください。</p>

仕様

充電機	ニッケル水素Ni-MH 14.4V 2000mAh
充電時間	約2.5時間(電池の状態により、充電時間は変わります。)
AC アダプター定格	入力:AC100V 50/60Hz 出力:DC20V 1000mA
稼働時間	最大約60分(床面の材質・使用環境により異なります) 約60分、50分、40分、30分、20分、10分 6段階切替式
稼働面積	約52畳(約84㎡) / 掃除時間を60分に設定した場合。 (のべ面積で、理論値となります。実際にはランダム、スパイラル動作を行うため、52畳の部屋を60分で掃除出来るということではありません。)
本体寸法	幅330mm 奥行330mm 高さ80mm
本体質量	約2.9Kg(充電機含む)
使用環境	0℃～40℃
集塵ケース	0.4L

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

●この商品は、日本国内用に設計・販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

充電機を長くご使用いただく為に

1. 充電機は消耗部品です。定期的に交換することをお勧めいたします。
(充電機は消耗部品の為、保証対象外となります。)
2. 次の場合は、充電機の寿命が短くなったり、故障の原因となりますのでご注意下さい。
 - ・落下等の強い衝撃を与える。
 - ・充電機を本体に入れたまま長期間放置する。
 - ・直射日光の当たる場所、ストーブ・コンロ・コタツ・ホットカーペット等の高温の場所に本体又は充電機を放置する。
 - ・使用環境(0℃～40℃)以外での使用。
3. 長期間(1カ月以上)使用しない場合は、充電機を本体から取り出し、冷暗所で保管する。

ニッケル水素電池について



- 内蔵のニッケル水素電池は充放電条件や使用環境温度によって変わりますが、通常約500回程度の充電ができます。
- 正しく充電していても使用時間が著しく短くなった場合は電池の寿命です。販売店へご相談ください。
(消耗品であるため、ニッケル水素電池の交換は有料となります。)
- この製品を廃棄する際は、ニッケル水素電池を取り外してリサイクルにご協力ください。
取り外した電池は、リサイクル協力店の電気店やスーパーなどの専用回収箱にお持ち込みください。
- リサイクル及びリサイクル協力店については(社)電池工業会のホームページ <http://www.baj.or.jp/> を参照してください。

